

教科	技術	単元名	情報モラル
----	----	-----	-------

本時のねらい

・情報通信ネットワーク上の危険を回避し、権利の侵害を防止する使い方を考える。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・Padlet に投稿するという活動は、自分の意見を手軽に発信し他者と共有することをねらいとしている。
- ・クラスメイトの投稿にコメントし合うことで、伝達と記録を同時に行い、考えを深めることに時間をかけられるようにしている。
- ・情報通信ネットワーク上でやりとりをすることで、自身が考えた危険回避・権利侵害防止方法を実践しながら学ぶようにしている。

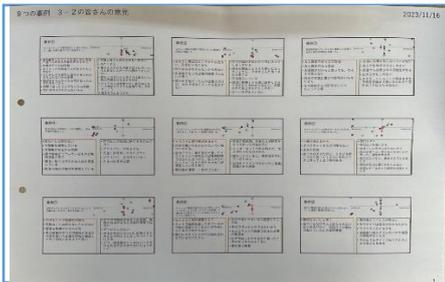
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Padlet
- ・Teams (Microsoft)
- ・ポジショニング (SKYMENU Cloud)

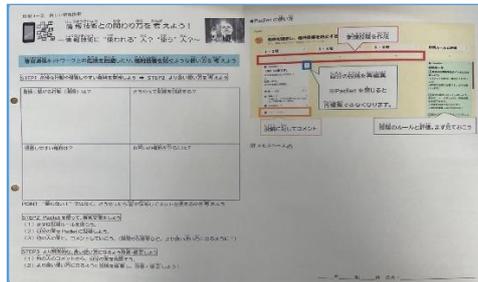
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	1. 本時のめあてと流れの確認 本時のめあて「危機を回避し、権利を守って使う方法を考えよう」 ・次の時間に啓発ポスターを作るため、より良い使い方を考えることを伝える 2. 本時の活動方法について確認 ・Padlet にアイデアを書き込み、交流して深めていくイメージをモニターに映して確認 ・評価基準、B 評価の例などについて共有	・パワーポイントを利用し視覚的な理解を促す。また、データを Teams で共有し各自確認できるようにする。 ・Padlet の投稿にも評価基準を載せておくことで作業をしながら確認できるようにする。
展開 (35分)	3. 前時の学習を参考に、より良い使い方を検討【写真 1】 <生徒の活動>【写真 2】【写真 3】 ①危険な行動・考え方や侵害しやすい権利について整理 ②より良い使い方を考え、Padlet に投稿 ③クラスメイトの投稿にアドバイス ・班→同列→クラスと交流範囲を広げる ④自分へのアドバイスを確認し、考えを修正・改善	・前時のポジショニングで集めたクラスメイトの意見を紙媒体・データで配付する。 ・タブレットを活用しながら、紙面でのアイデアシートも使用し、情報の整理を行う。 ・生徒はデータ・紙面、どちらを選んでもよい。 ・Padlet への投稿を、教師も情報通信ネットワーク上で確認するため、不適切な投稿などは削除することを伝えておく。 ・何度でも必要に応じて交流できるように、時間設定はしない。
まとめ (5分)	4. 次回の学習について確認 ・ポスターの例を提示し、イメージをもたせる 5. 振り返り	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】本時の内容を深めるための資料
前時にポジショニングで出した意見を集約したもの



【写真 2】本時のワークシートを手がかりに学びを進めていく



【写真 3】Padlet 入力の様子

児童生徒の反応や変容

日ごろから「SNS への投稿」を行っている生徒も多く、身近な話題で、生徒も実体験を振り返りながら SNS 活用の注意点を考えていた。また、今回は匿名での投稿であり、匿名の投稿だからこそ「モラル」を意識する必要があることを実感していた。情報モラル教育などで、講演を聞くことはあったが、実際に自分で体験して学び進めていく情報モラル学習は生徒にとって新鮮だったようで、本学習を自分事としてとらえることができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・全てデータで完結させるのではなく、紙媒体とデータと選べる環境を提供している点
- ・様々な情報（評価基準、投稿の仕方、今日の活動の流れ）を自分のタイミングで確認できるようにしている点
- ・交流の流れを円滑にするために、発表⇔交流がいつでも切り替えられる方法に挑戦している点